

海況速報

平成7年度 第5号(通算 No.47)
平成8年1月5日
北海道立水産試験場

内容についての問い合わせは

中央水試海洋部 0135-23-4020

11月下旬～12月中旬の海況

【日本海海域】

北緯43度30分線上では、前回(10月)より西方に暖水渦(中心:100m層水温9℃以上)があります。この暖水渦と積丹半島の間には表面では水温11℃以下、50m層では水温10℃以下の冷水帯が形成されています。また、北緯42度30分、東経138度40分に冷水渦(中心:50m層水温4℃以下)が発生したようです。

水温について見ると、北緯43度30分線上では、暖水渦の西側の境界と重なっている対馬暖流の境界(たとえばここでは100m層水温で6℃)が累年平均の位置より北海道側にあるため、その沖合側では累年平均水温(*1)より1～4℃低くなっています。暖・冷水渦に伴う暖・冷水域を除くと、沿岸側、沖合側共に累年平均水温に比べ各層-2～+1℃の範囲のところが多くなっています。また、宗谷岬と礼文島との間の表面にはオホーツク海起源と思われる水が入り込んだようで、そこでは累年平均水温に比べ3.7℃低くなっています。

余市における沿岸水温(旬平均)は、11月中旬以降12月下旬まで、平年値に比べ1.0～-1.4℃の範囲にあり、平年並みの状態から、現在平年よりやや低い状態に移っています。

【道東太平洋海域】

前回(10月)同様、襟裳岬南南東はるか沖合に暖水塊(この場合100m層水温12℃以上)があります。この暖水塊は親潮の流路上にあるため、道東沖を流れる親潮は前回同様三陸方面へまっすぐ流れることができず、この暖水塊の東側の縁をまわるように流れています。道東沿岸を流れる道東沿岸流(この場合100m層水温7℃以上)も、襟裳岬あたりからこの暖水塊のまわりを暖水塊と親潮に挟まれるように流れているようです。

水温は、暖水塊内で累年平均より最大で8℃高いところがありますが、暖水塊の縁を流れる親潮の流路となっている海域では累年平均よりも水温が低くなっています。特に北緯41度00分、東経146度00分では、累年平均に比べ200m層で2.6℃、100m層以浅では4.9～5.3℃低くなっています。その他の海域の水温は、累年平均に比べ各層-1～+1℃の範囲のところが多くなっています。

【道南太平洋海域】

浦河沿岸域の100m層以浅に水温11～13℃台の暖水が見られます。この水は、水温が道東沿岸流よりはるかに高く、表面・50m層水温から判断すると津軽暖流水起源であることが考えられます。このことから、観測のない襟裳岬南東海域には、前回同様に津軽暖流の渦モード

に伴う暖水渦がまだあることが推測できます。

水温について見ると、津軽海峡東口の最高水温帯の水温は、累年平均に比べ表面から100m層までは0～+0.5℃ですが、200m層では+3.5℃となっていて、津軽暖流の厚みが少し厚くなっています。浦河沿岸では、暖流水の流入により表面から100m層まで累年平均に比べ1.6～4.3℃高くなっています。また、白老沿岸側海域の100m・200m層でも累年平均水温に比べ2～4℃高くなっていますが、その他の海域では累年平均に比べ各層-1～+1℃の範囲のところが多くなっています。

【オホーツク海海域】

表面はほとんど全域で東カラフト寒流におおわれています。このため、宗谷暖流（この場合水温6℃以上）は潜流として、50m層では宗谷海峡東方の東経142度30分まで流れていることが分かります。一方、知床岬西方沖の100m層には、水温7℃以上の水が孤立してあります。これは補給を断たれた宗谷暖流が最後には周囲の低水温の水の中に取り込まれてなくなっていくところをとらえたものと思われまます。

水温について見ると、東カラフト寒流の到来が早かったため、宗谷海峡東方の表面で累年平均に比べ3℃以上低くなっているほか、宗谷暖流から東カラフト寒流に入れ替わった沿岸側の海域での水温の低下が大きく、そこでは累年平均と比べて、各層とも0～4℃低くなっています。また、知床岬北方沖合では冷水域（中冷水）が接岸傾向にあり、特に北緯44度40分の100m層では累年平均水温より5℃以上低くなっています。その他の海域では各層とも累年平均水温に比べ-2～0℃の範囲のところが多くなっています。

資 料 〔観測期間〕

青森水試（東奥丸）	平成7年12月4日～同12月5日（東北日本海海域）
稚内水試（北洋丸）	平成7年12月5日～同12月11日（道北日本海海域）
稚内・網走水試（北洋丸）	平成7年11月30日～同12月13日（オホーツク海海域）
釧路水試（北辰丸）	平成7年12月5日～同12月8日（道東太平洋海域）
函館水試（金星丸）	平成7年12月1日～同12月2日（道南太平洋海域）
中央水試（おやしお丸）	平成7年12月4日～同12月5日（道央日本海海域）

*1: 平成元(1989)年～平成6(1994)年までの平均値を使用しました。

お詫びと訂正: 添付の海況図に誤りがあります。 調査期間: 1995年11月30日～12月12日
となっているのを次のように訂正します。 → 調査期間: 1995年11月30日～12月13日

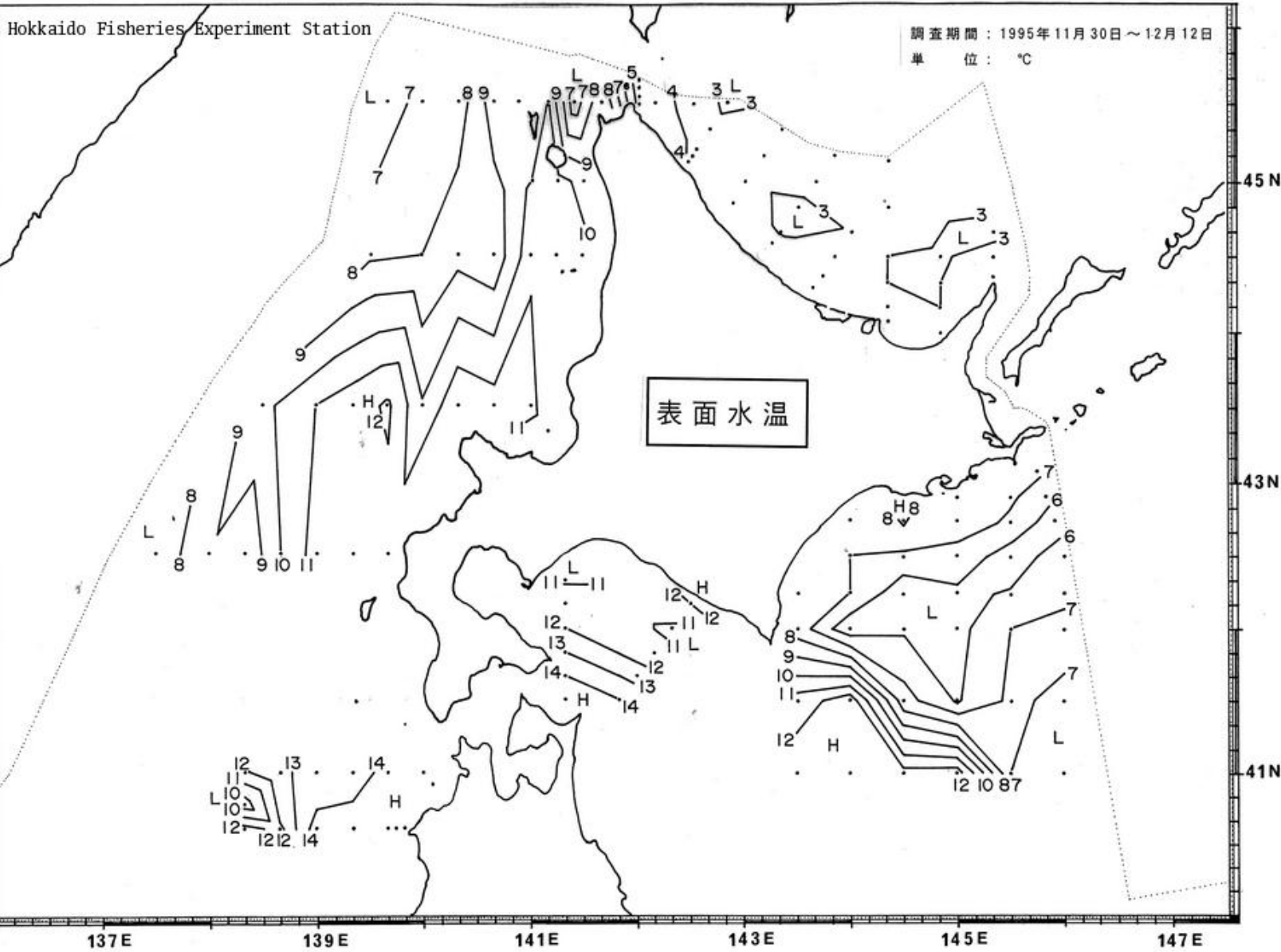
(中央水試 海洋部)

Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1995年11月30日～12月12日

単位：℃

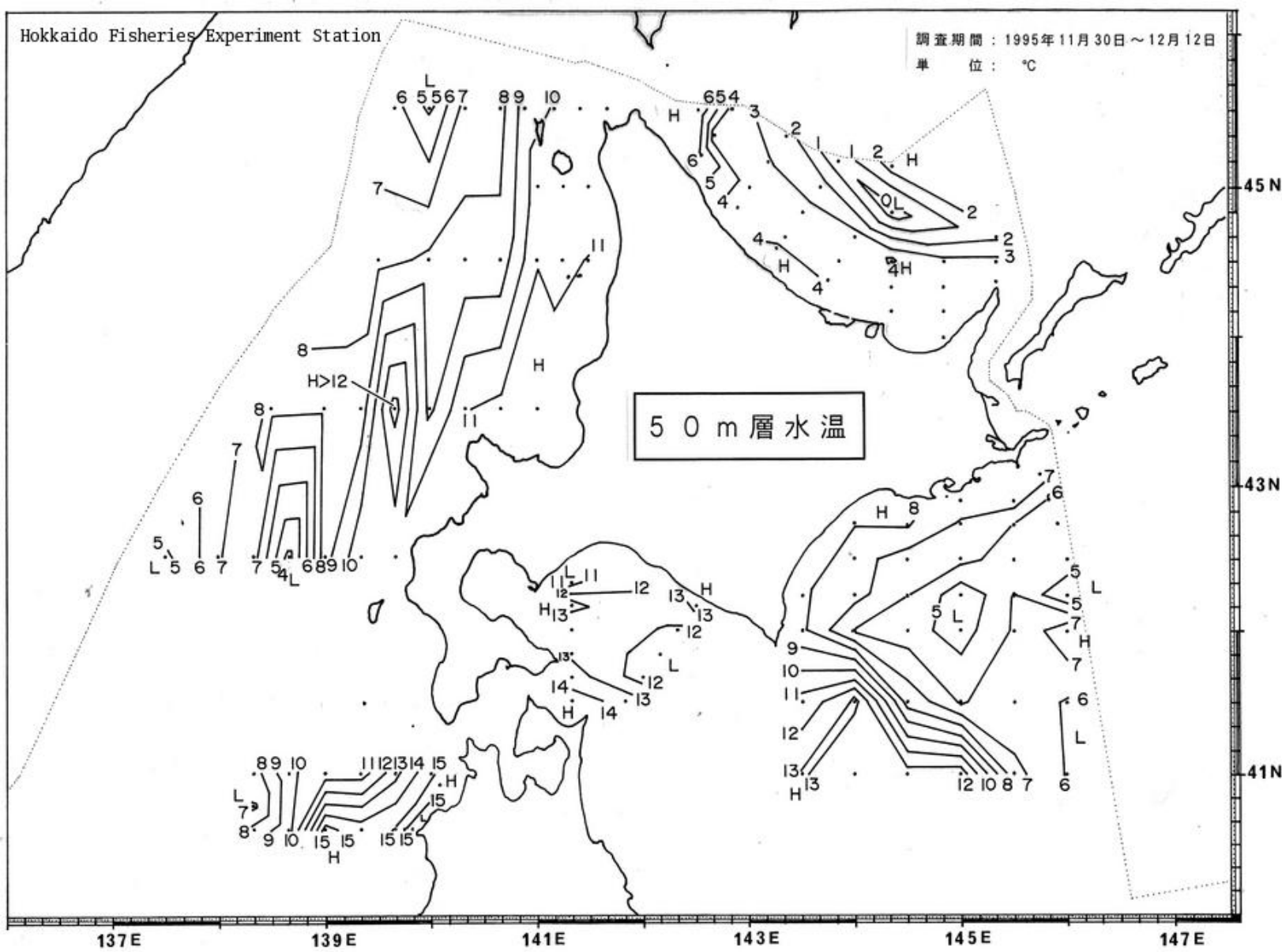
表面水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1995年11月30日～12月12日
単位：℃

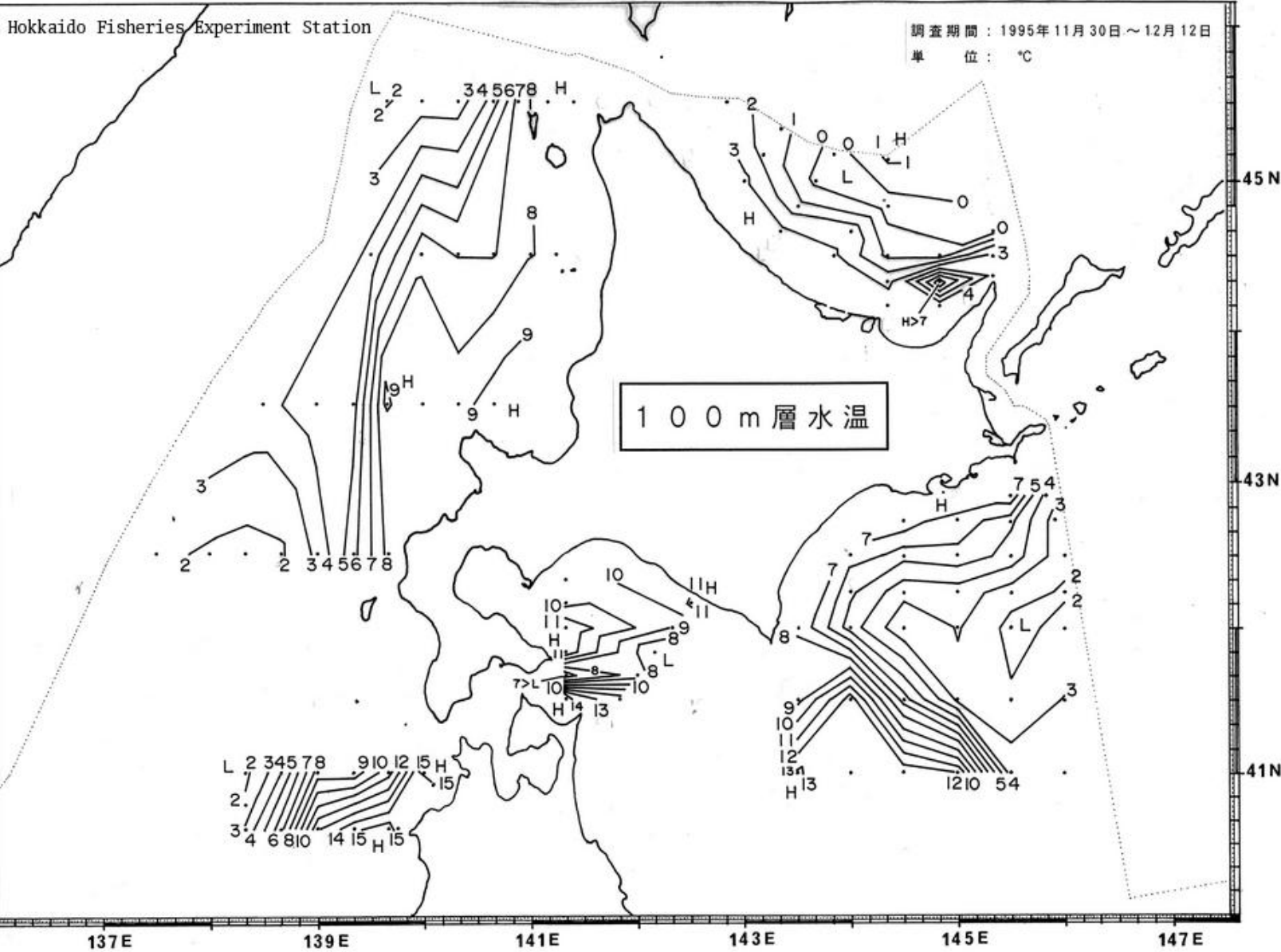
50 m 層水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1995年11月30日～12月12日
単位：℃

100m層水温



200m層水温

